

大分市農業委員会の新しい農業委員・農地利用最適化推進委員を紹介します!

農地利用最適化推進委員 令和3年8月1日現在

大分地区担当			鶴崎地区担当			
 小野 昇二 三芳	 星野 明彦 神崎	 阿部 教保 津守	 岩本 龍年 横尾	 向 俊雄 丸亀	 岩田 英昭 松岡	 白井 勝喜 宮河内
植田地区担当						
 矢田 典弘 岡川	 佐藤 浩 口戸	 首藤 好信 東院	 福田 一美 国分	 小野 和隆 賀来北		
大南地区担当						
 山崎 正則 上判田	 帆秋 淳一 上戸次	 工藤 利幸 中戸次	 首藤 公洋 下戸次	 今村 秀徳 竹中	 但馬 栄作 奥	 和田 美徳 福良
野津原地区担当						
 工藤 和美 竹矢	 幸 隆富 辻原	 佐藤 克治 下原	 河野 公則 野津原	 甲斐 隆司 今市		
大在・坂ノ市地区担当			佐賀関地区担当			
 西村 忠男 政所	 片岡 信義 丹川	 藤澤 秀光 市尾	 大内 憲治 細	 伊藤 孝芳 志生木	 江川 博志 一尺屋	

農業委員 令和3年8月1日現在

大分地区担当		鶴崎地区担当	
 朝来野 清 豊鏡	 二宮 ナミ子 平横瀬	 得丸 芳昭 丸亀	 筒井 昌一 松岡
大南地区担当		植田地区担当	
 齊木 清範 志津留	 長尾 栄作 下戸次	 加藤 隆生 横瀬	 脇 文夫 国分
大在・坂ノ市地区担当		野津原地区担当	
 阿部 清 政所	 大野 功二 佐野	 齊藤 耕一 野津原	 秋吉 和行 今市
佐賀関地区担当			
 平山 孝行 木佐上	 中園 公雄 岩田町		

農地の売買・贈与・賃借・農業者年金などに関するお問い合わせは、農業委員・農地利用最適化推進委員又は農業委員会事務局までご相談ください。

農業委員会事務局 電話537-5654 (直通)



大分市農業委員会は5月24日～5月31日に管内の農地パトロールを行いました。農業委員、農地利用最適化推進委員により毎年実施するこの農地パトロールは、農地が営農計画どおりに耕作されているか、農地の無断転用がないか、申請の計画どおりに転用が行われているかなどを確認しています。

農業委員会では、今後も違法な開発や利用がなされないように、農地パトロールを続けますので皆様のご協力をお願いします。



農地の利用状況調査を実施しています

利用状況調査とは

農地の適正・効率的な利用の促進のため、農地法第30条の規定に基づき実施する調査です。今年度は7月～9月にかけて調査員が農地の現況確認のために巡回しています。

調査の際は、農地へ立ち入ることやお話を伺うこともありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

調査の内容

遊休農地であった場合は周辺農地の状況も考慮し「再生可能」と「再生困難」とに分類します。

「再生困難」な農地については農業委員会定例総会の議決により非農地の判断を行い、非農地通知を所有者に送付いたします。

また、「再生可能」と判断した農地については、調査終了後、その農地の所有者に対し、今後の利用意向を確認する「農地利用意向調査」を実施します。調査の趣旨にご理解をいただき、ご協力くださいますようお願いいたします。



農地所有者の方へ 農地は一度耕作をやめて数年放置すると、耕作できる状態に戻すのに大変な手間と労力がかかります。農地が荒れないよう所有者、耕作者の方は適正管理をお願いします。農地の貸付や譲渡を希望される場合は、地域の農業委員・推進委員又は農業委員会事務局にご相談ください。



野生動物による農作物被害等防止のための取組を支援します!



地域ぐるみで設置したイノシシ用防護柵

イノシシやシカ、サル等の野生鳥獣による農作物被害は大分市でも深刻な問題となっており、令和2年度の被害額は約700万円となっています。

これらの被害を防ぐためには、「予防」「捕獲」「環境整備」といった総合的な対策が効果的です。ここでは、本市の各支援事業についてご紹介します。

予防対策支援事業

- ①地域ぐるみによる鳥獣被害対策に対する支援
(防護柵資材を支給)
③3戸以上の農業者で構成される組合の設立が必要になります。
- ②個人や団体による防護柵資材購入費に対する補助
補助率：イノシシ、シカ用防護柵は3分の2
サル用防護柵は5分の4
(ただし、補助金額には上限があります。)

④購入後の申込みは不可です。
事前に申請書の提出が必要です。

その他の支援事業

- ロケット花火、爆竹の無料配布
④農作物等の被害を防ぐために、野生動物を追い払う目的に限ります。

自衛捕獲支援事業

※自衛捕獲とは農作物等の被害を防ぐために、ご自身で捕獲を行うことです。

- ①わな猟免許取得・わな等購入に対する補助
- ②自衛捕獲許可
(狩猟期間外でも捕獲ができます。)
④イノシシやアナグマなどの野生鳥獣の捕獲には市への許可申請が必要です。
④捕獲方法は銃器以外の方法に限ります。

※いずれも申請期限や要件等がありますので、詳細は下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

大分市林業水産課 鳥獣総合対策担当班
電話 097-585-6021



農業の効率化へドローンの活用を!

大分市地域農業経営サポート協議会は、高齢化や担い手不足の課題が深刻化される大分市の農業集落で、農作業の受託や農機具のレンタルによる農家への支援や農地保全への取り組みを進めております。

その取り組みの一環として、ドローンによる病害虫防除作業の受託を実施しており、令和2年7月より集落営農法人が管理する水田を中心

に横瀬地区や宗方地区、上詰地区、丹川地区、木佐上地区など延107haの水田に対しドローンによる薬剤散布を実施致しました。

そして本年4月、トヨノカゼを始めとする麦の赤カビ予防についても市内延90haに対しドローンによる防除を実施し、利用農家の皆さまには、その効果はもとより、防除時間の大幅縮小と作業の省力化を実感していただき、大変好評を得ております。

今後、水稻、麦の病害虫の防除に限らず、甘藷、果樹の防除、またハウスの遮光剤の撒布等、幅広くドローンの活用に取り組みたいと考えておりますので、農作業の効率化につながるドローン防除を是非ご検討の上、詳しくは下記連絡先までお問合せをお願いします。



大分市地域農業経営サポート協議会

〒870-0846 大分市花園三丁目2番10号 (JAおおいた中部事業部内)
TEL: 090-2851-1662 / 090-6633-1662
E-mail: oita_agri_support@oita-agsp.net

ホームページURL: <https://oita-agsp.net>
Facebook: <https://www.facebook.com/oita.agri.support>

ホームページ・Facebook





農事組合法人丹川は、丹川地区の圃場整備（平成15年度～平成21年度）を契機に、整備された水田を後世に引き継ぐことを目的に平成18年3月に設立し、今年で15年を経過いたしました。

丹生地区は水稻栽培に適した粘土質の土壌で古代からお米の生産が盛んに行われ、白杵藩時代には、美味しいお米の生産を増やすため、丹生川の上流に大堤防を築き、人造湖（赤迫の池）を造成し、献上米の産地として名声を高めてきました。

組合員数は29人（平均年齢69歳）で、コメ17ha、麦13ha、にんにく20aを栽培、さらに作業受託を2haほど行っております。

米の販売は組合事務所での直接販売・JA・丹生ふるさと祭りに加えて、ふるさと大分市応援寄附金（ふるさと納税）の返礼品として全国に発送しており「大変美味しい」との好評をいただいております、令和2年度米は例年より早く3月には完売しています。麦については全てJAへ販売をしております。

生産の傍ら、都市部との交流事業として田植えや稲刈り体験、地域との交流事業として餅つき体験等を行い、農業に関心を持っていただいております。

米価の低迷に加えて、米作の補助金が皆無となる中、肥料・農薬等生産資材の高騰、天候不順、タニシ・ウンカ・鳥獣被害等で米作中心の経営は大変厳しい環境にあります。丹生地区の農業法人組織として、農地の集積と効率的な水田農業の展開、丹生米のブランド化・特殊精米の金芽米・有酸素米等「売れる米づくり」はもとより、野菜類等新規作物の栽培も視野に、もうかる農業をめざして、地域を守り、次世代へ引継いでいきたいとの組合員の意気を感じたところです。



がんばる地域の農業者

水耕レタスの消費拡大を目指す



大分市関園 (有)藍澤農園 藍澤 修一氏 (43才)

鶴崎地区担当農業委員 筒井 昌一

みつばの水耕栽培をする父親の手伝いで20年前から農業を始め、今は代表取締役としてみつばを90a、レタスを30a栽培しています。

現在、従業員はパートを12名雇用するとともに、就労継続支援B型事業所と業務提携を行っており、みつば、レタス共にJGAPの認証を取得し、みつばを1日平均280キロ、レタスを800株出荷しています。

水耕レタスは栽培を始めて6年目となり、ふわふわレタス、レッドオーク、クィーンレタスの3種類を中心に、年間14回転で栽培し、福岡へのお荷とJAの産直部会としての出荷をしており、玉レタスに比べて苦みがなく食感が良くて美味しいと消費者には好評ということです。

低農薬栽培のためハウス内には防虫ネットを張って防虫対策を行なうとともに、今後は温度管理をミストで行う細霧冷房の導入も予定しており、コロナ禍の影響でみつばの消費が落ち込む中、年間を通して水耕レタスを栽培しているのはみつば部会では藍澤さんのみということで、水耕レタスの消費拡大に向け、安心、安全で品質の良い商品の栽培に心がけていきたいと語っていました。



出荷前のふわふわレタスを持つ藍澤さん



(単位:円)

地区名		田	畑	樹園地	ハウス
大分・鶴崎	データ数	17	18	0	61
	平均値	5,600	8,300	0	110,900
	最高額	7,000	10,000	0	187,000
	最低額	5,300	5,700	0	35,700
植 田	データ数	212	5	2	26
	平均値	8,200	3,200	30,000	8,400
	最高額	12,300	3,300	30,000	8,800
	最低額	3,400	2,600	30,000	7,000
野津原	データ数	75	22	0	3
	平均値	8,400	5,800	0	92,200
	最高額	12,200	9,800	0	142,000
	最低額	3,200	4,300	0	67,100
大 南	データ数	80	116	0	20
	平均値	9,200	14,200	0	40,800
	最高額	12,000	16,300	0	69,300
	最低額	5,000	4,500	0	13,000
大在・坂ノ市・佐賀関	データ数	64	0	1	12
	平均値	11,200	0	10,000	82,800
	最高額	14,100	0	10,000	101,600
	最低額	8,300	0	10,000	23,400
(参考) 大分市平均		8,700	12,000	23,300	74,300

- 注1 データ数は、集計に用いた筆数である。
- 注2 賃借料を物納支給(水稲)としている場合は、60キログラム当たり12,000円に換算している。
- 注3 金額は、算出結果を四捨五入し100円単位としている。
- 注4 特別な事情の下で取引されたものと推測できるデータ(分類された区分ごとの全賃借料データの平均値 \times ±70パーセントを超えるもの)を除外している。
- 注5 使用賃借については除外している。
- 注6 「(参考)大分市平均」の平均額は、各区分の平均値(四捨五入前)をデータ数により加重平均した値である。
- 注7 10アール=1,000平方メートル(約1反)

令和2年受付分
農地賃借料情報の提供について

令和2年1月から12月までに締結(公告)された賃借借における賃借料水準(10アール当たり)は、以下のとおりとなっています。

編集後記

農業委員 齊木 清範

本年3月に農業委員の改選があり大分市農業委員3名、農地利用最適化推進委員5名が新任されました。退任された委員の皆様には大分市の農業発展にご尽力いただき感謝いたします。

さて、コロナ禍の影響で、我々の生活環境は一変してしまいました。経済が落ち込み、移動制限により食の文化が脅かされています。

現状では致し方ないのかもしれませんが、早期解決のために我々に出来ることは協力していきたいと思えます。

大分市の農業を取り巻く環境は、高齢化による農業者の減少等により、遊休農地の発生が懸念されていることから、農業委員会として、遊休農地の発生防止・解消、担い手への農地利用の集積・集約化等の農地の利用の最適化に積極的に取り組んでいく必要があると、今回「農業委員会だより」の編集にあたり、再認識いたしました。編集にご協力いただきました農業者の方に心より感謝申し上げます。

編集委員会

委員長

- 齊藤 耕一
- 大野 功二
- 加藤 隆生
- 齊木 昌一
- 筒井 清範
- 二宮 ナミ子
- 中園 公雄

全国農業新聞を購読しませんか!



全国農業新聞



農業経営と暮らしに役立つ農業総合専門誌です。全国47都道府県にある支局の充実により、地域の元気で特徴ある面白い話題や地域独自のイベント情報などを紹介しています。

発行日 毎月4回 金曜日
購読料 月額700円(税込)
年額8,400円(税込)
申込み お近くの農業委員・推進委員又は農業委員会事務局へ

【お問い合わせ先】 農業委員会事務局 電話:537-5654 (直通)